

「決算書の目利き力を極める」研修に参加して

とき：平成31年4月10日(水) ところ：TKC近畿京滋会研修センター

岡村勇毅公認会計士・税理士事務所 佐藤 圭介

平成31年4月10日、TKC近畿京滋会研修センターで開催された研修に参加いたしました。岡村勇毅先生の主催者挨拶と、趣旨説明の後、京都信用金庫様の竹口尚樹理事が「京都信用金庫の本業支援について」をテーマに講義してくださいました。若くして支店長になられ、多くの企業の事業再生に関わられた竹口理事からは、取引先に対する熱い想いが伝わってきました。そこには、TKC会員の我々が関与先に対する「おせっかい」の姿勢と共通するものがあつたと思います。

「おせっかい」の事例のひとつとして、京都信用金庫様にはビジネスマッチング掲示板という取り組みがあります。営業店の職員同士で取引先の大中小様々な課題を、気軽に共有するサービスです。融資に関係なく取り組まれているそうで、お客様が求める以上のものを生み出そうとする姿勢は、今後も社会に求められるものと思われました。

そういった共通の価値観を背景に「TKC絆ローン」の販売に至ったとの事でした。原則、無担保・無保証の融資商品で、TKCの取り組みを理解して頂けたからこそその男気溢れる商品だと思えます。年に1回の3者会議によって、経営の課題等が3者間で共有され、それぞれの得意分野を生かした連携によって中小企業へ新たなアプローチができるのではないかと。関与先における「情報の非対称性」が解消できる手段として、大きな味方になりそうだと感じました。

今後は、「TKC絆ローン」をきっかけに会員事務所と京都信用金庫様との交流が深まることで、お客様のさらなる発展につながっていくのではないかと感じました。



講義風景



講師 竹口 尚樹 理事